

キブリナギゴケ

Kindbergia arbuscula (Broth.) Ochyra

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

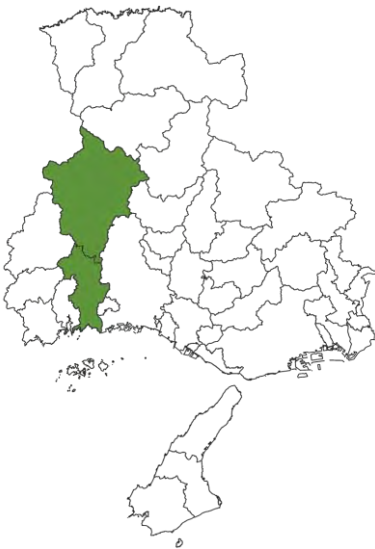
宍粟市、たつの市

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

Eurhunchium arbuscula Broth.という学名が長く使われてきた。

■ 保護上の留意点

■ 種の概要

大型で硬い感じがする蘚類。一次茎は地面をはい、二次茎は立ち上がって多くの枝を2-3回羽状に出し、樹状になる。葉は乾いても展開したままで、枝は葉を含めて幅0.5-1mm。一次茎の葉は腎臓形から半円形。二次茎の基部の葉は長さ1-1.5mm、広卵形で、先端は急に細く尖って反り返り、全周に鋭い歯がある。中肋は葉長の3/4前後または葉先に終わり、背面の先端に1個の刺がある。枝葉は小型、広卵形で短く漸尖し、鋭頭。葉身細胞は狭楕円形から線形。蒴柄は長さ20-25mm、全面にパピラがある。溪谷の湿った岩上や林内の水辺に大きな群落をつくって生育する。